

No.C033 2024/06

健康体力づくりコラム



チー坊の 明日元気になぁ～れ！

「スポーツを楽しみ、人が繋がる」
～ヨーロッパのスポーツクラブ～

健康や運動・スポーツに関連する気になる話題について取り上げます。
学生時代の競技スポーツの経験に加え、現在は生涯スポーツの大切さを日々
感じています。健康とスポーツは切り離すことができません。
「明日元気になぁ～れ！」の願いを込めて、コラムの始まりです。



高野 千春

Profile

1億人元気運動協会認定チェア
エクササイズ・インストラクター、
健康運動指導士、体育学修士

大学教員として、「生涯スポーツ」
をテーマに、レクリエーションやパ
ラスポーツについて、楽しく真面目
に研究中です！



ボレリー公園とその周辺
@マルセイユ





市民のスポーツ活動状況（byインタビュー）

【日時】毎週水・土曜の午後 90分程度

- ・昼間は、主婦や高齢者のクラス
- ・午後は早い時間帯から、幼児、小学生、中学生、高校生、大人のクラス
- ・夜はクラブハウスで飲食をしながら語り合う

【場所】公園や学校など近隣の公共施設

【種目】ラグビー、サッカー、柔道、テニス、バスケットボール、バレーボール
陸上競技、水泳、体操競技

（地域特性を生かした）ヨット、スキー、登山...

【期間】6か月が1term（4月、10月スタート）

【指導者】国家資格を持つ者

【会費】1ヶ月2000～3000円程度

スポーツを楽しみながら
健康でいることが
市民のステータス



ヨーロッパのスポーツクラブのモデルは**ドイツ**！

旧西ドイツ時代のスポーツ振興政策

1959年「**第2の道**」 ➡ソフト面

1960年「**ゴールドンプラン**(15年計画)」 ➡ハード面

地域スポーツクラブ(フェライン)の特徴

- ✓ 施設整備や土地は**公共**
- ✓ 運営はクラブ会員による**自主運営**(会費、寄付、事業費、自治体補助)
- ✓ クラブ数; 87,000 会員数; 2,700万人 ➡**総人口の約1/3**
- ✓ **多世代・多種目・多目的**
 - ・多世代: 学校の体育授業はあるが、部活動は存在しない
 - ・多目的: プロチームもベースはスポーツクラブ

練習や試合で汗を流した後に憩う**クラブハウス**は、
地域の横のつながりを育むためには絶対に欠かせない場所！



ヨーロッパのスポーツクラブは

- 誰もが気軽に**スポーツを楽しむ場**
- 地域の**横の繋がり**を育む**社交の場**

< 参考資料 >

- 坂本健二 「ドイツに学ぶ『総合型地域スポーツクラブ』の運営」 月間事業構想
<https://www.projectdesign.jp/201601/athlete-change-local/002632.php>
- 堀田裕二 「ドイツのスポーツ事情」 新日本法規
<https://www.sn-hoki.co.jp/articles/article3366759/>
- 総合型地域スポーツクラブCLUB Salute 「What's CLUB ?」
<http://www.club-salute.com/whatclub.html>